

家庭学習の手引き

2024年度

松阪市立小野江小学校

本校では、21世紀を生きる子どもたちのために、子どもたちの興味関心が生まれる授業づくりや主体的に語り合い、投げ出さず、学び合う子どもたちの関係づくりなどの授業改善に取り組んでいます。そして、基礎基本を定着させ、子どもたちが確かな学力を身につけるためには学校だけでなく家庭での基本的な生活習慣や家庭学習の定着が重要であると考えています。さまざまな調査の結果などからも、学力と学習・生活環境は大いに関連性があり、「学習する習慣を身につけた子は、学力が伸びている」ということが言われています。

このように、小学生のうちに机に向かう習慣を身につけることが、これからの自ら学ぶ姿勢に大きな影響を与えます。学習時間の目安は、子どもたちが机に向かって学習に集中する時間です。宿題が早く終わった場合も自主学習や読書に取り組み、時間いっぱい学習に取り組むよう、ご支援ください。宿題をきちんと行い、家でも毎日続けて学習する習慣をつけ、子どもたちの学力の定着とやる気の向上を図るために、ご家庭で協力をお願いします。

お忙しいとは思いますが、少しでもお子さんと関わる時間が増えることを願っています。

低学年 学習時間の目安（30分）「いっしょにして、やる気をおこす」

- 学習内容や方法をいっしょに決めましょう。
- できたことをほめることによって、興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。

家庭での援助

- 学習を始める前にテレビなどを消してください。
- 勉強する場所の整理整頓をさせてください。
- 学校からの連絡やお便り、明日の予定などを子どもといっしょに確かめてください。
- 学習時間を決めて、毎日の宿題を最後まできちんとできるようにさせてください。
- 宿題が全部終わったかどうか、確かめてください。

こんなことも学習につながります。

- 子どもの生活経験を増やす。
 - いっしょに買い物をしたり、時計をよんだりする。
- 遊びやゲーム感覚を取り入れる。
 - お風呂で「九九」を言ったり、「100までの数」を5とびで言ったりする。
- 寝る前や時間があいたときに、たとえ5分でも読み聞かせをする。